

北部機械金属業界の景況動向

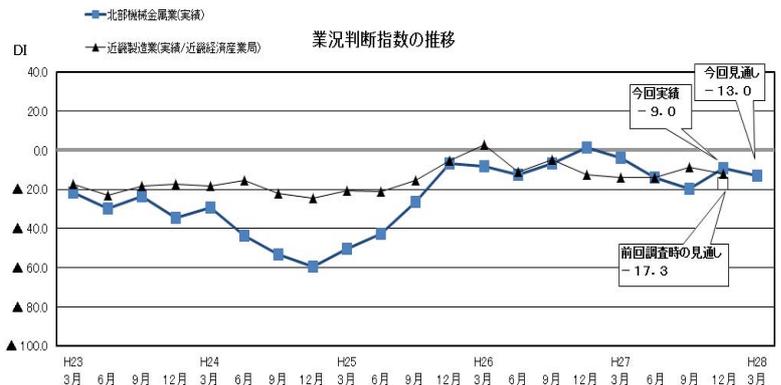
(2015年10~12月実績/2016年1~3月見通し)

- 調査対象：綾部市以北5市2町の機械金属関係企業182社 【調査時点 平成27年12月下旬】
- 回答数：123社（回答率67.6%、内訳は以下のとおり。）
 - ①市町別 = 福知山市:26、舞鶴市:19、綾部市:18、宮津市・与謝郡:13、京丹後市:47
 - ②取扱別 = 一般機械:50、電気機械:12、輸送機械:31、精密機械:9、その他:17、未回答:4
 (区分) 一般機械…工作機械、産業機械部品等 電気機械…家電部品、電子部品等
 輸送機械…自動車部品、船舶等 精密機械…半導体・液晶関連、精密機械部品等
 - ③従業員数別 = 1~9人:31、10~19人:23、20~49人:40、50~99人:13、100人以上:14、未回答:2
- ※アンケート調査の他に一部企業の訪問調査を実施 【調査機関：公益財団法人京都産業21北部支援センター】

— 調査結果 —

1 景況動向判断

●10~12月実績のDI(業況判断指数)は -9.0となり、7~9月期(以下「前回」)より10.7ポイント上昇したものの依然としてマイナス域で推移している(前回-19.7)。地域別では、福知山市域は11.5(前回-11.6)、舞鶴市域は-5.3(前回-15.7)、綾部市域は-27.8(前回-33.2)、宮津市・与謝郡域は-38.5(前回-50.0)、京丹後市域は-6.3(前回-13.5)であった。このように、全地域で5ポイント以上改善となった。



注：DI = (非常に良い+良い) - (非常に悪い+悪い)

●1~3月見通しのDIは-13.0と、前回より4.3ポイント改善の見通しとなった(前回-17.3)。地域別に見ると、福知山市域は7.7(前回-7.6)、舞鶴市域は0.0(前回15.8)、綾部市域は-33.2(前回-47.4)、宮津市・与謝郡域は-53.8(前回-50.0)、京丹後市域は-10.7(前回-15.6)であり、舞鶴市域、宮津市・与謝郡域以外は前回と比べて好転の見通しとなっている。

景況動向判断10~12月実績

地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	DI
全体	1.6	13.8	60.2	23.6	0.8	-9.0
福知山市	19.2	73.1				7.7
舞鶴市	10.5	73.7				-5.3
綾部市	11.1	50.0			38.9	-27.8
宮津・与謝		61.5		30.8		-38.5
京丹後市	4.3	17.0	51.1		27.6	-6.3

景況動向判断1~3月見通し

地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	DI
全体	0.8	16.3	52.8	29.3	0.8	-13.0
福知山市	23.1	61.5			15.4	7.7
舞鶴市	26.3	47.4			26.3	0.0
綾部市	5.6	55.6			38.8	-33.2
宮津・与謝		46.2		46.1		-53.8
京丹後市	17.0	51.1			29.8	-10.7

2 採算状況

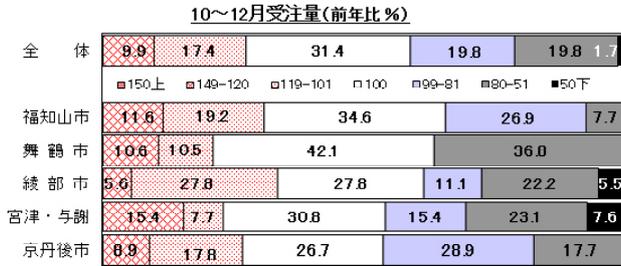
●10~12月の採算状況は、赤字とする企業が14.7%(前回17.3%)と2.6ポイント好転した。地域別では、福知山市域、綾部市域、京丹後市域は黒字とする企業が赤字とする企業を上回っており、舞鶴市域は、赤字とする企業が黒字とする企業を上回っている。宮津市・与謝郡域においては、黒字とする企業が皆無である。

10~12月採算状況

地域	黒字	トントン	赤字
全体	27.9	57.4	14.7
福知山市	44.0	52.0	4.0
舞鶴市	10.5	73.7	15.8
綾部市	33.3	44.5	22.2
宮津・与謝		69.2	30.8
京丹後市	31.9	55.3	12.8

3 受注量

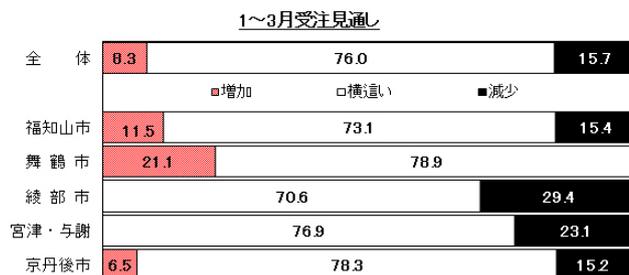
- 10～12月の受注量は、対前年同期比100%以上を確保した企業は58.7%（前回55.6%）と3.1ポイント増加した。対3か月前比100%以上を確保した企業は62.5%（前回60.0%）と2.5ポイント増加した。宮津・与謝郡域以外の地域で5割以上の企業が3か月前比100%以上の受注を確保している。



- 10～12月の受注量（稼働割合）は、100%以上とした企業は41.0%（前回41.6%）と0.6ポイント減少した。福知山市域は5割の企業が受注能力100%以上の仕事を確保しているが、その他の地域は5割を割り込んでいる。

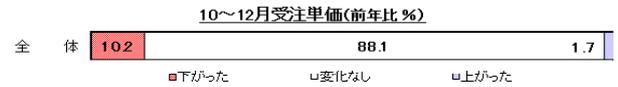


- 1～3月の受注見通しは、増加を見込む企業の割合は8.3%（前回12.8%）と4.5ポイント減少し、減少を見込む企業の割合も15.7%（前回18.4%）と2.7ポイント減少の見通しである。



4 受注条件（受注単価／納期）

- 受注単価が上がったとする企業は1.7%（前回2.4%）と0.7ポイント減少し、受注単価が下がったとする企業は10.2%（前回8.6%）と、1.6ポイント増加した。また、納期が短くなったとする企業は25.6%（前回24.2%）と1.4ポイント増加した。



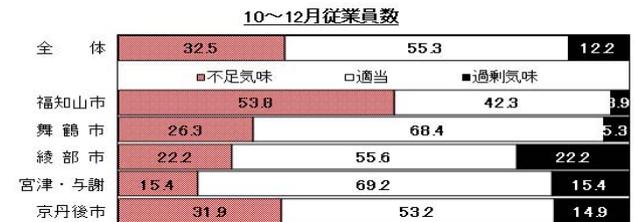
5 資金繰り

- 資金繰りは、悪化とした企業が10.6%（前回14.2%）と前回より3.6ポイント減少した。福知山市域では、悪化とする企業が無く、舞鶴市域、綾部市域、宮津・与謝郡域では好転とする企業が皆無である。



6 従業員数

- 従業員数は、不足気味が32.5%（前回22.8%）、過剰気味が12.2%（前回15.0%）となった。綾部市域、宮津・与謝郡域以外は、不足気味とする企業が過剰気味とする企業を上回っている。



7 今後の事業での重視分野

- 今後、一番重視する事業は、全体で「同分野の事業拡充」とされる企業が59.3%であり、福知山市域、宮津・与謝郡域、京丹後市域では、5割以上の企業が重視している。

